

Title	子どものための物理的環境：モンテッソーリ教育における建築・設備・家具・道具 [学位論文内容の要旨/学位論文審査の要旨/日本語要旨/外国語要旨](学位論文内容の要旨)
Author(s)	高橋, 節子
Citation	
Issue Date	2014-03-24
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10083/55229">http://hdl.handle.net/10083/55229</a>
Rights	
Resource Type	Thesis or Dissertation
Resource Version	publisher
Additional Information	There are other files related to this item in TeaPot. Check the above URL.

This document is downloaded at: 2018-01-21T12:35:44Z



## 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

		要 旨
学位申請者	高 橋 節 子 【ライフサイエンス専攻 平成19年度生】	
論文題目	子どものための物理的環境 —モンテッソーリ教育における建築・設備・家具・道具	<p>本論文は、幼児教育施設の建築、設備、家具、道具を幅広い視点から調査分析したものである。特に物理的環境を重要視したモンテッソーリ教育に注目し、その思想を検討するとともに、具体的な教育施設の物理的環境を分析した。</p> <p>モンテッソーリ教育に関する既往研究には、教育思想についての研究は多く見られる一方、これまで教育法と具体的な物理的環境との関連は十分に検討されていない。そこで本論では主に以下の3点から、教育法と物理的環境との関連について分析をおこなった。まず1) モンテッソーリの主要著作にもとづき、子どもの発達観や、物理的環境に対する彼女の思想を体系化した。さらに2) その考えが、実際の園舎の環境にどのように実現されたか、1930年代に設計されたウィーンのゲーテ・ホーフ幼稚園を対象とし、具体的な建築事例を分析した。そして3) 現在日本のモンテッソーリ保育所においてその物理的環境の実現と継承の状況を質問紙調査によって明らかにした。日本のモンテッソーリ保育所においても、教育実践のために物理的環境が重視されている状況が明らかにされた。</p> <p>最後に、これらの調査分析の結果から、物理的環境による子どもの自律的活動の喚起・援助について考察し、環境と子どもとの相互交渉をモデル化した。また、幼児教育施設の物理的環境の計画における建築家と教育者の協働の重要性について考察をおこなった。幼児教育施設における子どもの安全をいかに確保するか、そしてユーザとしての子どもの意向をどのように環境に反映させていくかについては今後、さらに検討すべき問題であると指摘した。</p>
審査委員	(主査) 教授 大 瀧 雅 寛	
	准教授 元 岡 展 久	
	教授 太 田 裕 治	
	教授 仲 西 正	
	教授 小 玉 亮 子	